



施政方針

平成30年度

平成30年第1回熊野町議会定例会において、町長が平成30年度の施政方針を述べました。
町政運営に対する所信と施策の概要をお知らせします。

(財務課)

【はじめに】

平成30年度予算案ならびに諸案件のご審議をお願いいたします。私の所信および町政の基本方針を申し上げます。

【町を取り巻く諸情勢】

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が続いていますが、国の取組みの効果はいまだ地方にまで行き渡っていない状況とも言われています。

また、国は少子高齢化に立ち向かうべく「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として取り組むことにしています。

【重点的な取り組み】

第5次熊野町総合計画・後期基本計画において、「定

図る筆の里工房周辺整備事業などによる「筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまちづくり」などの取組みを重点的に推進します。

【各部門の取り組み】

〔総務部門〕

本町は町制施行から100周年を迎えるため、記念式典をはじめとする多彩なイベントを実施します。

安全に安心して暮らせるまちづくりでは、多発する自然災害への備えを強化するため、老朽化した防災行政無線を向こう2か年でデジタル方式に更新する事業に着手します。

土砂災害防止法に基づき警戒区域などが指定される第二小学校区のハザードマップを作成します。

生活福祉交通「おでかけ号」は、更なる利便性の向上を図るため、4月から試験運行を実施します。

筆産業の振興と筆文化の継承を目的として建設した

「筆の里工房」は、老朽化が進んでおり、空調設備および常設展示の改修を実施します。

商工振興事業では、くまの産業団地で操業を開始された事業所に対し、企業立地奨励金を引き続き交付し、安定的な操業と町内からの雇用拡大を図ります。

【民生部門】

住民基本台帳事業では、マイナンバーカードを利用して本町が発行する住民票などの各種証明書が全国で取得できるシステム構築を行い、年度内のサービス開始を目指します。

子育て支援施策では、西部地区健康センターで実施している「子育て支援センター事業」を新施設に移転し、町直営による運営を開始します。多様化する育児相談などの対応の充実を図るとともに定住促進のための取組みを展開していきます。

0歳児から2歳児までの低年齢児の保育ニーズに対応するための特別保育の実施や、年度中途において待機児童を出さないよう保育所の運営法人と連携して取り組みます。また、老朽化した第二聖徳幼稚園の改修に係る整備費の助成を行い、認定こども園への移行を支援します。

放課後児童クラブでは、対象学年を小学5年生まで拡大し、共働き家庭を支援します。

健康づくりの推進では、乳がん・子宮頸がんの女性がん検診を医療機関で個別に受診できる体制を継続して整えます。また、胃がん検診では、新たに胃部内視鏡検査を導入するなど、受診率の向上を図ります。

母子保健は、新たに新生児期における先天性の聴覚障害の発見を目的とした「新生児聴覚検査」に係る費用の助成を開始します。国民健康保険事業の広域

化では、広島県と連携を図りながら新制度への円滑な移行を行い、誰もが安心して医療が受けられる安定的な運営に努め、健康づくりの支援と医療費適正化に取り組みます。

高齢者施策では、元気な高齢者などがボランティア活動を通じた社会参加や地域貢献をし、自らの健康増進と介護予防に繋げることを目的とした「介護予防・ボランティアポイント事業」を開始します。

生活困窮者に対する自立支援策では、衣食住など生活に必要な支援を行う「一時生活支援事業」の体制整備に広島市と連携して取り組みます。

【建設部門】

町内の県道の整備では、「県道矢野安浦線」の川角交差点から呉地区までの

「現道拡幅及びバイパス事業」、「県道瀬野呉線」の「深原地区バイパス事業」では、用地取得および工事が、新

宮地区における「交通安全施設等整備事業」では工事

が実施され、「県道矢野安浦線」における役場前交差点から阿戸別れ交差点間の渋滞対策として、用地取得が実施される予定です。

町道の整備では、出来庭地区の「呉出来線」の狭隘部分の工事などを実施し、呉地区から萩原地区を結ぶ呉萩線では拡幅工事などに着手し、通学する児童生徒の安全を向上していきます。

その他町道の局部改良を、住民の方々の要望などを踏まえ実施し、町内全域における生活道の適正な維持管理を計画的に行い、利便性・安全性の向上に努めます。

なお、道路インフラの老朽化対策や河川の維持管理では、計画的に工事などを実施していきます。

森林整備では、「ひろしまの森づくり事業交付金」を活用した整備を引き続き実施します。

公園緑地の整備では、熊

野町観光交流拠点整備構想で観光交流拠点と位置付けられている筆の里工房周辺整備の平成35年度の供用開始を目指し、基本設計などの実施に取り組めます。

また、平成32年に広島県、および県内の全市町が連携し、開催を計画している平和を象徴する花と緑の祭典、「全国都市緑化フェア」の準備に取り組んでいきます。

「子育て世代住むならくまの応援事業」では、引き続き、子育て世帯の定住促進のため、交付金を支給し、人口の維持、地域の活性化を図っていきます。

公共下水道事業では、川角、出来庭、呉地区の未普及区域、合計約1.7ヘクタールの整備を予定し、熊野団地内の老朽度の高い汚水管路については、改築更新のための実施設計を延長約2キロメートルの予定で実施します。

上水道事業では、川角内

で未給水地区の配水管整備や老朽管の布設替え、熊野団地内の老朽管を計画的に更新します。また、出来庭地区での県道矢野安浦線の道路改良工事に伴い、支障となる配水管の移設を予定しています。

【教育部門】

各小・中学校の学習形態に応じて、タブレット端末または電子黒板を引き続き配置し、ICT教育の充実に向けた環境整備を図ります。

安全・安心な教育環境の整備では、熊野第一小学校東校舎および熊野東中学校普通教室棟の大規模改造工事を実施します。また、近年の温暖化対策のため、小・中学校の全普通教室にエアコンを設置するための実施設計を行い、教育環境を向上させます。

小学校では、次期学習指導要領の全面実施に向け、外国人講師による英語指導助手派遣業務を1人増員

し、教員との連携により、外国語教育のより一層の充実を図ります。

生涯学習の分野では、多世代交流を積極的に実施している「くまの・みらい交流館」や遊具・広場の更なる利用促進、緊急時対応ができるよう監視カメラを設置し、安全・安心な場として整備します。

社会体育・生涯スポーツの振興の拠点である町民グラウンドの抜本的な改修を行い、快適な利用環境となるよう整備していきます。

近年、町内でも高齢者を中心にグラウンドゴルフ人口が増加して、本格的なコースを望む声が多いことから、公認グラウンドゴルフコースの整備に向けて設計業務を実施していきます。

【おわりに】

今後も、住民の視点に立ち、「第5次熊野町総合計画」および「総合戦略」に沿ったまちづくりに全力を傾注してまいります。